



## 言葉を増やしていく楽しさを

BIG BOSS 若狭孝太郎

1月の終わり。三中にも雪が積もりました。早朝の誰もいないテニスコートから写真を撮りました。真っ白なグラウンドと朝陽に照らされる校舎。

…違う。真っ白じゃない。この色は「白」ではない。灰色や青色がかった感じ…。調べてみると、ちゃんとそうした「色」がありました。「雪色(せっしょく)」というのです。単純な「白」よりも冷たくて寒々しい感じがする色です。そうです。その日の三中は雪色のグラウンドだったのです。

しっかりとした「冬」がやってきました。廊下や階段に置いてあった観葉植物を避難させました。こうなると不思議なもので、急に春が待ち遠しくなってきました。

3年生はそれぞれの「春」を迎えるために、いよいよ最終段階に入ることとなります。2月からは3年生全員を対象とした面接練習(集団面接)も始まります。昨年、面接者の緊張をほぐすために「今の気持ちを色に例えると何色ですか?」と聞いたことがあります。「青です」「どうしてですか?」「緊張しているからです。不安を表す青が浮かびました」とか、「赤です。やる気に満ちあふれているので、赤の感じです」などが聞きました。まず結論をしっかりと述べ、後から理由を付け加える。面接のセオリー通りの回答ができていて、ウォーミングアップになったようでした。

手元には、色を調べるのに使った「日本の色手帳(日本色彩学会 監修)」があります。1000色以上ある日本の伝統色のうち、草木や空や水、動植物などに由来する240色ほどが紹介されています。ふと、思いました。面接官に聞かれた時に、「天色(あまいろ)です。晴れ渡った澄んだ空のようだからです」なんて答えられたら格好いいやろうな。「雨上がりの植物の葉のような、濡葉色(ぬれはいろ)です。いきいきとしています」とかね。

言葉が増えると表現する力や伝える力が向上するという事は間違いのないでしょう。でも、むしろ、表現したい時や伝えたい時にこそ、言葉を探して言葉を発見して欲しいと思うのです。自分の感じた色は音は味は、その言葉で表しているのか、もっと適した言葉はないのか。自分の気持ちを表す形容詞や形容動詞は、使い慣れたその言葉なのか、もっとしっくりいく言葉はないのか…。こうして手にする「語彙力」は、もちろん受験にも「使える学力」となっていくからですね。

ところで、国語辞典を編纂するときなどは、誰もが普通に使う(誰もが知っているだろう)単語の方が説明するのが難しくなります。映画化もされた「舟を編む(三浦しをん)」の中で、「右という言葉の説明できるかい」と問いかける場面があります(ネタバレになるので続きは省略しますが)、同じように「色ってなに?」と聞かれたら、皆さんならどう説明しますか。「色」という言葉をどう説明しますか。ネットなんか参照しないで、ここは自分でじっくり考えてみてくださいね。

2月4日は立春です。明け方の空は曙色。

2月の予定				給食	3月の予定				給食
1日	水			○	1日	水	公立特別選抜発表		○
2日	木			○	2日	木			○
3日	金			○	3日	金	公立一般選抜出願(3/3-7)		1,2年○
4日	土				4日	土			
5日	日				5日	日			
6日	月	生徒会委員会		○	6日	月			○
7日	火			○	7日	火			○
8日	水			○	8日	水			1,2年○
9日	木			○	9日	木	卒業式全体練習		1,2年○
10日	金	私立入試 乗り入れスクール	1,2年○		10日	金	公立一般選抜学力検査 予行準備	1,2年○	
11日	土	建国記念の日 私立入試			11日	土			
12日	日				12日	日			
13日	月	生徒会委員会		○	13日	月	卒業式予行 前日準備		1,2年○
14日	火	特別選抜出願		○	14日	火	卒業式		
15日	水	45分授業(昼食あり)		○	15日	水			○
16日	木	新入生保護者説明会 3年三者懇談		○	16日	木			
17日	金	公開授業研究会			17日	金	1, 2年校外学習		
18日	土				18日	土			
19日	日				19日	日			
20日	月	特別選抜入試 3年三者懇談(~22日)		○	20日	月	学年末懇談(3/20-23 希望制)公立一般選抜発表		
21日	火	特別選抜入試 1,2年学年末考査	3年○		21日	火	春分の日		
22日	水	1,2年学年末考査	3年○		22日	水			
23日	木	天皇誕生日			23日	木	公立二次選抜出願・入試		
24日	金	1,2年学年末考査	3年○		24日	金	修了式 大掃除		
25日	土				25日	土			
26日	日				26日	日			
27日	月	生徒会委員会		○	27日	月	公立二次選抜発表		
28日	火			○	28日	火			
					29日	水			
					30日	木			
					31日	金			

## 給食予約確認のお願い

3学期は期間が短い中、3年生は受験や卒業に向けて1, 2年とは違うスケジュールになり、1, 2年生が学年末考査で午前中の日に3年生は通常授業だったり、給食のある日ない日によって違う日が増えてきます。2月17日(金)には公開授業研究会があり、2年1組のみ給食がある日もあります。(すでに他のクラスのキャンセル手続きは教育政策課に依頼しています)上記の月間予定表を基にご確認ください。

## 【1年生】 つながい 思いやり 自分と仲間を高め合おう

1月11日(水)に生徒たちはチャレンジテストを受験しました。初めての経験でありながらも、2年生にむけての一步につながったと感じております。

また、1月26日(木)5・6限には学年での百人一首大会がありました。これまで特活や総合で取り組むだけでなく、主体的に「覚えよう!」と活動していた生徒は、結果にもよく表れていました。古典の知識としてだけでなく、班やクラスの団結につながったと考えています。



結果は優勝が4組、準優勝が2組でした。

3週間後には学年末考査が始まります。1年生にとっての3学期最初で最後のテストになりますので、日々の学習を行いながら復習を心掛けてほしいと思います。

## 【2年生】

1月27日(金)の5, 6時間目に百人一首大会がありました。BIG BOSSを筆頭に学年の教師が札を読み上げ、みんな一喜一憂の中、大いに盛り上がりました。お互いに問題を出し合ったり、何回も口に出して句を覚えたりして、大会に向けて特訓を重ね、27日を迎えました。寒い一日となりましたが、体育館の畳の上では寒さを忘れて、熱い戦いが繰り広げられました。結果は4組が総合優勝でした。

残りの2ヶ月、最高学年につながるように学習、行事でまとまった学年を目指してほしいと思います。まずは2月21日(火)からの、学年末テストに向けて、日々の学習をしっかり頑張してほしいと思いますし、3月17日(金)には学年最後の行事の校外学習があります。3年生に向けてのカウントダウンの日々を、充実したものにしてほしいと思います。

## 【3年生】

2023年が始まりました。中学3年生にとっては勝負の年です。3学期が始まりましたが、「行く1月・逃げる2月・去る3月」といわれるように、例年あっという間と感じてしまう学期でもあります。ですが、今年は中学校生活最後ということもあり普段よりもさらに早く感じるのではないかと思います。

中学校生活も残り45日。各クラスで、子どもたちによって一枚一枚想いが込められた卒業までのカウントダウンカレンダーが飾られており、過ぎてゆく日々を名残惜しく感じる毎日です。

当たり前のように過ごしている三中での生活も残りわずかとなってきました。授業、クラス、そしてこの緑学年での生活、後悔することがないように1日1日を大切に、みんなが笑顔で卒業していくことを先生達は願っています。

## 【授業力向上委員会】

3年生にとって、この2月は多くの生徒が受験する私立入試の時期です。そして1、2年生にとっても学年最後の定期考査があります。今年の授業力向上委員会では去年に引き続き、1年間通して、授業改善に取り組んできました。

「課題に対して、粘り強く学び合う生徒の育成」

そのための土台として日常生活でも、主体的・対話的を意識してきました。

2月17日(金)には、今年度最後の研究授業を行う予定です。当日2年の一つの組以外は午前授業になり、4時間目の後にすぐ下校します。各家庭には、昼食や給食のキャンセル等でご迷惑をおかけすると思いますが、今回もご協力お願いいたします。

全教員が授業を常により良いものにするためにこれからも精進してまいります。

【生徒指導より】 3学期に入り、より一段と寒さが強まっています。防寒具等でしっかり体調管理して下さい。

1・2年は百人一首大会が行われ、クラスの絆が強まりました。3年は入試に向け、日々自分の将来に向けた準備を行っています。

今年度最後の月間目標は「次の学年に向かって」です。3学期を来年度に向けての準備期間として、3年生は卒業後の進路先で発揮する力を、2年生は最高学年としてより良い学校をつかっていく力を、1年生は4月に入学する新入生の先輩として手本を示すことのできる力を、一人ひとりがさらに意識を高め、身につけてくれることを期待しています。

## 【道徳・人権教育より】

### ◆1年

今回のローテーションでは、「いつものバイオリン」、「家族と支え合うなかで」、「奈良筆に生きる」、「バスと赤ちゃん」という4種類の教材を通して、「人間として生きる喜びを見いだそうとする心情」、「父母、祖父母に対する敬愛の念」、「日本の伝統を継承する努力」、「社会の中の思いやり」を考えました。今回も子どもたちの感想を「道徳通信」で配布しています。

### ◆2年 2年生は①～④までの先生とそれぞれ次のことを学びました。

①鈴木先生 ②中尾先生 ③南先生 ④横山先生

①「夜のくだもの屋」を題材にさりげない思いやりや優しさについて考えました。暗い夜道を一人下校する少女のために、店の明かりをともすくだもの屋。少女もまた、その温かな思いやりに支えられていると気付きます。

②「最後のレストラン」をとおして生きることについて考えました。とあるレストランに命を落とす前に最後の食事を取ります。そのうちの一人、土方歳三はホテルイカの干物を生き返らせろというオーダーを出します、、、

③「世界がもし100人の村だったら」を題材に国際理解・国際貢献について考えました。この世界を100人に縮め、食糧問題や貧困、識字率など地球規模で取り組むべき+難題について考えました。

④「包む」を題材に日本文化の心について考えました。ふだん私たちが意識することのない「包む」という行為。風呂敷に込められた「日本人の心」とは一体何か、多くの人がある意味に気付いたのではないのでしょうか。

### ◆3年

3年生の道徳では、学年教師で題材をローテーションして授業をしました。我が校を愛する心について考えた「お別れ会」、実在する義肢装具士の実話から仕事の意義について考えた「失った笑顔を取り戻す」、日本の美しさの象徴とも言えるおもてなしの心について考えた「出迎え三步、見送り七歩」などの題材を通して、クラスで意見を出し合い共有しました。前回のローテーションの道徳通信を配布していきますのでご覧ください。